


抗癌剤プロトコール届け票

申請者	所属科:外科	医師名	渡辺 康則	印	
抗癌剤プロトコール内容					
略名	FOLFIRI+ベクティビックス				
適応臓器名	KRAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌				
薬剤名	パニツムマブ(遺伝子組換え)製剤(商品名:ベクティビックス®点滴静注100mg) フルオロウラシル注射液(商品名:5-FU注) レボホリナートカルシウム注射剤(1-LV)(商品名:アイソボリン注) 塩酸イリノテカン注(CPT-11)(商品名:カンプト注)				
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること				
用法・用量・投与スケジュール					
<p>ベクティビックスは2週間に1度で、 FOLFIRIレジメンは2週間(14日間)を1コースとして繰り返す。</p> <p>先にベクティビックス (Infusion reaction 対策のプレメディケーションは原則不要であるが、必要に応じて、塩酸ジフェンヒドラミン50mg経口投与+生食100ml、デカドロン8mg(30分))</p> <p>1)生食100ml、ベクティビックス6mg/kg(体重)</p> <p>その後、FOLFIRIレジメンとして</p> <p>2)前投薬:5-HT3受容体拮抗型制吐剤+デカドロン8~20mg</p> <p>3)CPT-11として1回150mg/m²(体表面積)とI-LVとして200mg(体表面積)を別々のバッグに入れて同時に2時間かけて点滴静脈内注射する。</p> <p>4)その後5-FUとして1回400mg/m²(体表面積)を15分以内で急速静注し、</p> <p>5)5-FUとして1回2400mg/m²(体表面積)を46時間かけて持続静注する。</p>					
Evidence	2012年度版NCCNガイドライン 2011年度版大腸癌治療ガイドライン 海外臨床試験(PICCOLO、GERCOR)				
備考	KRAS遺伝子野生型に限り使用すること				
がん化学療法委員会承認日: 24.2.20					